



安全データシート

Action Powder

JIS Z 7253 「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)」に準拠

1: 化学品及び会社情報

製品特定名

製品名 Action Powder

製品番号 536097

化学品の推奨用途及び使用上の制限

特定された用途 エンバーミングパウダー

安全データシートの供給者の詳細

供給者 The MazWell Group Ltd.
Units 11/14-15 Ardglen Industrial Estate,
Whitchurch, Hampshire,
RG28 7BB, United Kingdom
+44 (0)1256-893883
+44 (0)1256-893868
enquiries@themazwellgroup.com

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 +44 (0)1256 893883 (月曜- フライデー 9:00 am - 4:30 pm GMT)

2: 危険有害性の要約

化学物質又は混合物の区別

物理化学的危険性 区分外

健康有害性 急性毒性 区分4 - H302 皮膚刺激性 区分2 - H315 眼に対する重篤な損傷性 区分1 - H318
皮膚感作性 区分1 - H317 発がん性 区分2 - H351 生殖毒性 区分1B - H360FD 特定標的
臓器毒性 (STOT)、単回ばく露区分3 - H335

環境有害性 水生環境有害性 (急性) 区分3 - H402

GHS ラベル要素絵表示

注意喚起語

危険

Action Powder

危険有害性情報

H302 飲み込むと有害。
 H315 皮膚刺激。
 H318 重篤な眼の損傷。
 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
 H351 発がんのおそれの疑い。
 H360FD 生殖能への悪影響のおそれ。 胎児への悪影響のおそれ。
 H335 呼吸器への刺激のおそれ。
 H402 水生生物に有害。

注意書き

P201 使用前に取扱説明書入手すること。
 P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 P261 粉じんの吸入を避けること。
 P264 取扱い後は汚染された皮膚をよく洗うこと。
 P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
 P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 P273 環境への放出を避けること。
 P280 保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。
 P301+P312 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
 P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。
 P304+P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 P310 直ちに医師に連絡すること。
 P330 口をすすぐこと。
 P333+P313 皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診断 / 手当てを受けること。
 P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 P405 施錠して保管すること。
 P501 国の規則に従って内容物 / 容器を廃棄すること。

含有物

ポリ (オキシメチレン) , ホウ酸, メタノール

他の危険有害性

この製品はPBTまたはvPvBに分類される物質を一切含まない。

3：組成及び成分情報

混合物

ポリ (オキシメチレン)

25 - <50%

CAS番号: 30525-89-4

分類

可燃性固体 区分2 - H228

急性毒性 区分4 - H302

急性毒性 区分4 - H332

皮膚刺激性 区分2 - H315

眼に対する重篤な損傷性 区分1 - H318

皮膚感作性 区分1 - H317

発がん性 区分2 - H351

特定標的臓器毒性 (STOT)、単回ばく露区分3 - H335

Action Powder

ホウ酸 CAS番号: 10043-35-3	25 - <50%
分類 生殖毒性 区分1B - H360FD	
メタノール CAS番号: 67-56-1	0.5 - <1%
分類 引火性液体 区分2 - H225 急性毒性 区分3 - H301 急性毒性 区分3 - H311 急性毒性 区分3 - H331 特定標的臓器毒性 (STOT)、単回ばく露区分1 - H370	
アルキル (C = 12 ~ 18) (ベンジル) (ジメチル) アン モニウム = クロリド CAS番号: 68391-01-5 Mファクター (慢性) = 1	0.025 - <0.25%
分類 急性毒性 区分4 - H302 急性毒性 区分4 - H312 皮膚腐食性 区分1B - H314 眼に対する重篤な損傷性 区分1 - H318 水生環境有害性 (急性) 区分1 - H400	
第四級アンモニウム化合物、C12-14-アルキル[(エチルフェ ニル) メチル]ジメチル、塩化物 CAS番号: 85409-23-0 Mファクター (慢性) = 10 毒性乗数 (M) (慢性) = 1	0.025 - <0.25%
分類 急性毒性 区分4 - H302 急性毒性 区分4 - H312 皮膚腐食性 区分1B - H314 水生環境有害性 (急性) 区分1 - H400 水生環境有害性 (長期間) 区分1 - H410	

Action Powder

ホルムアルデヒド	0.025 - <0.25%
CAS番号: 50-00-0	
分類 急性毒性 区分3 - H301 急性毒性 区分3 - H311 急性毒性 区分3 - H331 皮膚腐食性 区分1B - H314 眼に対する重篤な損傷性 区分1 - H318 皮膚感作性 区分1 - H317 生殖細胞変異原性 区分2 - H341 発がん性 区分1B - H350 特定標的臓器毒性 (STOT)、単回ばく露区分3 - H335	
アルキル (C = 12 ~ 18) ジメチルアミン	<0.025%
CAS番号: 68391-04-8	
Mファクター (慢性) = 100	毒性乗数 (M) (慢性) = 1
分類 急性毒性 区分4 - H302 皮膚腐食性 区分1B - H314 眼に対する重篤な損傷性 区分1 - H318 水生環境有害性 (急性) 区分1 - H400 水生環境有害性 (長期間) 区分1 - H410	

全ての危険有害性情報の全文は項目16に示されている。

4: 応急措置

応急措置の説明

一般情報	事故が起きたときあるいは気分が悪い場合、直ちに医師の診察をうける (できればラベルを見せる)。
吸入	被災者を空気の新鮮な場所に移して暖かく保ちながら呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸が呈している場合には人工呼吸を行うこと。直ちに医師の手当てを受けること。
経口摂取	鼻および口を水で洗うこと。医療関係者の指示がない限り無理に吐かせてはならない。直ちに医師の手当てを受けること。
皮膚接触	直ちに汚染された衣類を取り除き皮膚を石鹸と水で洗うこと。直ちに医師の手当てを受けること。
眼接触	コンタクトレンズがあれば取り外し瞼を大きく広げること。直ちに多量の水で洗うこと。少なくとも15分間洗い続けた後に医師の手当てを受けること。
応急措置をする者の保護	応急処置を行う者は救助活動中は常に適切な保護具を着用しなければならない。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

一般情報	記載されている症状の重症度は濃度および暴露の長さ依存して変化する。妊娠中 / 授乳期中は接触を避けること。発がんのおそれの疑い。
吸入	単回暴露は次の悪影響を引き起こすおそれがある: 鼻、喉および気道の刺激。呼吸困難。咳。
経口摂取	飲み込むと不快感を引き起こすおそれがある。胃痛。吐き気、嘔吐。

Action Powder

皮膚接触 敏感な個人は皮膚感作またはアレルギー性反応を引き起こすおそれがある。発赤。皮膚を刺激する。

眼接触 重篤な眼の損傷。過剰暴露に続いて生じる症状には以下が含まれる場合がある：痛み。大量の流涙。発赤。

必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

医師に対する特別な注意事項 症候に基づいた処置を行うこと。

5：火災時の措置

消火剤

適切な消火剤 耐アルコール泡消火剤、二酸化炭素、粉末消火剤または水霧で消火すること。

使ってはならない消火剤 火災を広げるので棒状水を消火剤として使用しないこと。

化学品から生じる特定の危険有害性

特有の危険有害性 非常に毒性のガスまたは蒸気。蒸気は空気より重いので地表近くで広がり着火源まで相当な距離を移動して逆火するおそれがある。

有害燃焼副産物 二酸化炭素 (CO₂)。一酸化炭素 (CO)。

消火を行う者の保護

消火活動中の保護措置 火災ガスまたは蒸気の吸入を避けること。水スプレーを使用して熱にさらされた容器を冷却すると共にリスクを伴わずに対処可能ならそれらの容器を火災区域から移動させること。炎にさらされた容器は消火後も十分な時間冷却し続けること。

消火を行う者を保護するための特別な保護具 陽圧自給式呼吸器 (SCBA) および適切な保護衣を着用すること。消防士の衣類は化学物質に対して基本レベルの保護を提供する。

6：漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

人体に対する注意事項 この安全データシートの項目8に記載の防護衣を着用すること。粉塵の吸入を避けること。換気が不十分な場合には、適切な呼吸用保護具を必ず着用すること。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 排水管および水性環境への排出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

浄化方法 適切に換気すること。個人保護具については、項目8を参照。流出物を真空掃除機で除去するかシャベルとほうき、または同様の用具で回収すること。回収し適切な廃棄物用容器に入れて確実に密封すること。回収した流出物を入れた容器には必ず正確な内容物と危険有害性シンボルを標示しなければならない。国の規則に従って内容物 / 容器を廃棄すること。

他の項目の参照

他の項目の参照 個人保護具については、項目8を参照。健康危険有害性についての追加情報は、項目11を参照。廃棄物の廃棄処理については、項目13を参照。

7：取扱い及び保管上の注意

安全な取扱いのための予防措置

使用上の予防措置 製造業者から提供される推奨事項を読みこれに従うこと。何らかの暴露のリスクがある場合には妊娠中または授乳中の女性はこの製品を取り扱ってはならない。この製品を扱うときには洗眼設備および緊急用シャワーが利用可能でなければならない。この安全データシートの項目8に記載の防護衣を着用すること。適切に換気すること。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を使用すること。

Action Powder

職業衛生全般に関する助言 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。皮膚が汚染された場合は直ちに洗うこと。

混蝕禁止物質を含む、安全な保管条件

保管上の予防措置 密閉した、元の容器に入れて乾燥した、涼しくて換気の良い場所に保管すること。容器が破損しないよう保護すること。

特定最終用途

特定最終用途 この製品の意図された使用は項目1で詳しく述べられている。

8 : ばく露防止及び保護措置

管理パラメーター

職業ばく露限界値

メタノール

長時間暴露限界 (8時間TWA) : 200 ppm 260 mg/m³

皮, 生殖毒性物質 第2群

ホルムアルデヒド

長時間暴露限界 (8時間TWA) : 0.1 ppm 0.12 mg/m³

最高容許濃度 : 0.2 ppm 0.24 mg/m³

皮, 発がん分類 第2群A, 感作性分類(気道) 第2群, 感作性分類(皮膚) 第1群

皮 = 経皮的に吸収されることがある

生殖毒性物質 第2群 = ヒトに対しておそらく生殖毒性を示すと判断される物質

発がん分類 第2群A = ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質 (疫学研究からの証拠は限定的であるが、動物実験からの証拠が十分な物質)

感作性分類(気道) 第2群 = 人間に対しておそらく気道感作性があると考えられる物質

感作性分類(皮膚) 第1群 = 人間に対して明らかに皮膚感作性がある物質

ばく露防止

適切な設備対策

適切な全体換気装置および局所排気装置を設けること。防爆型の全体換気装置および局所排気装置を使用すること。

眼 / 顔面の保護

顔面に密着する、化学物質飛沫ゴーグルまたは保護面を着用すること。眼および顔面を適切に保護する個人用保護具を着用しなければならない。

手の保護

リスク評価により皮膚接触の可能性が指摘された場合には承認された規格に適合した耐薬品性の、不浸透性手袋を着用しなければならない。手袋の材料の破過時間に関する情報を提供することができる手袋供給業者/製造業者と協議して、最も適切な手袋を選択しなければならない。手袋の製造業者が明記したデータを考慮し、使用中に手袋が保護性を維持しているかを確認して何らかの劣化が認められた場合には直ちに交換すること。手を化学物質から保護するには、手袋はJIS T8116: 2005に適合していなければならない。

その他の皮膚及び身体の保護

飛沫または汚染に対する保護に適した保護衣を着用すること。

衛生措置

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。この製品を扱うときには洗眼設備および緊急用シャワーが利用可能でなければならない。皮膚が汚染された場合は直ちに洗うこと。

呼吸器の保護

空中浮揚汚染物質が推奨職業暴露限界値を超える場合には呼吸用保護具を必ず使用しなければならない。呼吸マスクの選択は必ず暴露レベル、製品の危険有害性および選択した呼吸マスクの安全作業限界に基づいて行わなければならない。全ての呼吸用保護具が意図した使用に適していることを確認すること。

環境ばく露の防止

使用しないときは容器を厳重に密閉しておくこと。残渣および空の容器は現地および国の規定による危険有害性廃棄物として処理しなければならない。

9 : 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

Action Powder

外観	粉塵性粉末。
色	白色。
臭い	強烈な刺激臭。芳香性の臭い。
臭いの閾値	データ無し。
pH	データ無し。
融点	データ無し。
初留点及び沸騰範囲	77-79°C @ 760 mm Hg
引火点	65°C クローズドカップ。
蒸発速度	データ無し。
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	燃焼/爆発下限界: 2.5% 燃焼/爆発上限界: 73%
蒸気圧	データ無し。
蒸気密度	> 1
相対密度	0.90-0.95 @ 20°C
溶解度	水にわずかに溶解性。
分配係数	データ無し。
自己発火温度	データ無し。
分解温度	データ無し。
粘度	データ無し。
爆発特性	爆発性であると考えられない。
酸化特性	酸化性物質の分類基準を満たさない。
揮発性	53%

10: 安定性及び反応性

反応性	詳しくはこのセクションの他のサブセクションを参照のこと。
安定性	標準周囲温度および推奨条件で使用した場合は安定。
危険有害性反応危険性	重合するおそれがある。次の物質は製品と反応するおそれがある：強酸化剤。
避けるべき条件	高温または直射日光への暴露を避けること。
混触危険物質	強酸化剤。強還元剤。酸。アルカリ。
危険有害な分解生成物	推奨事項に従って使用および保管した場合には分解しない。

11: 有害性情報

有害性情報

急性毒性 - 経口

備考 (経口LD₅₀) 急性毒性 区分4 - H302 飲み込むと有害。

Action Powder

急性経口毒性推定値 (ATE) (mg/kg)	1,195.65
急性毒性 - 経皮 備考 (経皮LD₅₀)	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
急性経皮毒性推定値 (ATE) (mg/kg)	30,612.24
急性毒性 - 吸入 備考 (吸入LC₅₀)	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
急性吸入毒性推定値 (ATE) (蒸気mg/l)	21.5
皮膚腐食性 / 刺激性 動物データ	刺激性。
眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	
眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	眼に対する重篤な損傷性 区分1 - H318 重篤な眼の損傷。
呼吸器感受性 呼吸器感受性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
皮膚感受性 皮膚感受性	敏感な個人は皮膚感受またはアレルギー性反応を引き起こすおそれがある。
生殖細胞変異原性 遺伝毒性 - in vitro	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
発がん性 発がん性	発がんのおそれの疑い。
IARC発がん性	発がんのおそれのある物質/物質群を含む。IARC グループ1 ヒトに対する発がん性が認められる。
生殖毒性 生殖毒性 - 生殖能	生殖能への悪影響のおそれ。
生殖毒性 - 発生	胎児への悪影響のおそれ。
特定標的臓器毒性 - 単回ばく露 特定標的臓器毒性 (STOT) - 単回ばく露	特定標的臓器毒性 (STOT)、単回ばく露区分3 - H335 呼吸器への刺激のおそれ。
標的臓器	呼吸器系、肺
特定標的臓器毒性 - 反復ばく露 特定標的臓器毒性 (STOT) - 反復ばく露	反復暴露後の特定標的臓器毒性物質に分類されない。
吸引性呼吸器有害性 吸引性呼吸器有害性	関連しない。固体。
一般情報	妊娠中 / 授乳期中は接触を避けること。生殖能への悪影響のおそれ。反復暴露後に発がんのおそれがある。発がんのリスクは暴露の継続期間および濃度に依存する。記載されている症状の重症度は濃度および暴露の長さに依存して変化する。

Action Powder

吸入	単回暴露は次の悪影響を引き起こすおそれがある：鼻、喉および気道の刺激。呼吸困難。咳。
経口摂取	飲み込むと不快感を引き起こすおそれがある。胃痛。吐き気、嘔吐。
皮膚接触	敏感な個人は皮膚感作またはアレルギー性反応を引き起こすおそれがある。発赤。皮膚を刺激する。
眼接触	重篤な眼の損傷。過剰暴露に続いて生じる症状には以下が含まれる場合がある：痛み。大量の流涙。発赤。
ばく露経路	経口摂取 吸入 皮膚および/または眼との接触
標的臓器	呼吸器系、肺
医学的に考慮すべき事柄	皮膚障害およびアレルギー。

成分に関する毒性学的情報

ポリ (オキシメチレン)

急性毒性 - 経口

急性経口毒性 (LD ₅₀ mg/kg)	592.0
生物種	ラット
備考 (経口LD ₅₀)	飲み込むと有害。

急性経口毒性推定値 (ATE) (mg/kg)	592.0
--------------------------------	-------

急性毒性 - 経皮

急性経皮毒性 (LD ₅₀ mg/kg)	10,000.0
生物種	ラット
備考 (経皮LD ₅₀)	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

急性経皮毒性推定値 (ATE) (mg/kg)	10,000.0
--------------------------------	----------

急性毒性 - 吸入

備考 (吸入LC ₅₀)	吸入すると有害。
急性吸入毒性推定値 (ATE) (蒸気mg/l)	11.0

皮膚腐食性 / 刺激性

動物データ	刺激性。
-------	------

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	重篤な眼の損傷。
-----------------------	----------

呼吸器感作性

呼吸器感作性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
--------	--------------------------

皮膚感作性

皮膚感作性	感作性。
-------	------

Action Powder

生殖細胞変異原性

遺伝毒性 - in vitro 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

発がん性

発がん性 発がんのおそれの疑い。

生殖毒性

生殖毒性 - 生殖能 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

生殖毒性 - 発生 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

特定標的臓器毒性 - 単回ばく露

特定標的臓器毒性 (STOT) - 単回ばく露 特定標的臓器毒性 (STOT)、単回ばく露区分3 - H335 呼吸器への刺激のおそれ。

標的臓器 呼吸器系、肺

特定標的臓器毒性 - 反復ばく露

特定標的臓器毒性 (STOT) - 反復ばく露 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

吸引性呼吸器有害性

吸引性呼吸器有害性 化学構造に基づき、吸入性呼吸器有害性は予想されない。

ホウ酸

急性毒性 - 経口

急性経口毒性 (LD₅₀ mg/kg) 3,450.0

生物種 ラット

急性経口毒性推定値 (ATE) (mg/kg) 3,450.0

急性毒性 - 経皮

備考 (経皮LD₅₀) LD₅₀ >2000 mg/kg, 経皮, ウサギ

急性毒性 - 吸入

備考 (吸入LC₅₀) LC₅₀ >2.03 mg/l, 吸入, ラット

皮膚腐食性 / 刺激性

動物データ 用量: 0.5g、24 時間、ウサギ 一次皮膚刺激性指標: 0.1 刺激性でない。

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性 用量: 100 mg、24 時間、ウサギ 刺激性でない。

皮膚感作性

皮膚感作性 ビューラー試験 - モルモット: 感作性でない。

生殖細胞変異原性

遺伝毒性 - in vitro DNA損傷および / または修復: 陰性。

遺伝毒性 - in vivo 染色体異常: 陰性。

発がん性

Action Powder

発がん性	無毒性量 (NOAEL) >5000 ppm, 経口, マウス
生殖毒性	
生殖毒性 - 生殖能	三世代試験 - 最小毒性量 (LOAEL) 336 mg/kg KW/日, 経口, ラット P 生殖能への悪影響のおそれ。
生殖毒性 - 発生	母体毒性: - 無毒性量 (NOAEL): 76 mg/kg KW/日, 経口, ラット 胎児への悪影響のおそれ。
特定標的臓器毒性 - 反復ばく露	
特定標的臓器毒性 (STOT) - 反復ばく露	無毒性量 (NOAEL) 100 mg/kg KW/日, 経口, ラット

12: 環境影響情報

毒性 製品は水生生物に毒性で長期継続的影響により水生生物に悪影響を生じるおそれのある物質を含んでいる。

成分に関する生態学的情報

ポリ (オキシメチレン)

毒性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
急性水生毒性	
急性毒性 - 魚類	LC ₅₀ , 96 時間: 60 mg/l, Oncorhynchus mykiss (ニジマス) ***TRANSLATION NEEDED*** Raw material suppliers' information.
急性毒性 - 水生無脊椎動物	EC ₅₀ , 24 時間: 42 mg/l, Daphnia magna (オオミジンコ)

ホウ酸

毒性	水性毒性の発生する可能性は低い。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
急性水生毒性	
急性毒性 - 魚類	LC ₅₀ , 96 時間: 79.7 mg/l, Pimephales promelas (ファットヘッドミノー)
急性毒性 - 水生無脊椎動物	LC ₅₀ , 48 時間: 102 mg/l, Ceriodaphnia dubia
急性毒性 - 水生植物	EC ₅₀ , 72 時間: 66 mg/l, Phaeodactylum tricornutum

残留性・分解性

残留性・分解性 製品の分解性は未知である。

成分に関する生態学的情報

ポリ (オキシメチレン)

残留性・分解性 製品は生物分解性である。

ホウ酸

残留性・分解性 製品の分解性は未知である。

生体蓄積性

生体蓄積性 生体蓄積性について利用可能なデータ無し。

Action Powder

分配係数 データ無し。

成分に関する生態学的情報

ポリ (オキシメチレン)

生体蓄積性 製品は生体蓄積性でない。

ホウ酸

生体蓄積性 生物濃縮係数 (BCF) : < 0.1 L/kg, Oncorhynchus tshawytscha (チヌークサーモン)

分配係数 log Pow: -1.09

土壤中の移動性

移動性 半移動性。

成分に関する生態学的情報

ポリ (オキシメチレン)

移動性 製品は水に溶解しない。

ホウ酸

移動性 製品は水に溶解する。

他の有害影響

他の有害影響 知られていない。

13 : 廃棄上の注意

廃棄上の注意

一般情報

廃棄物、残渣、空の容器、捨てられた作業着および汚染された浄化材料は指定された容器に集め、内容物を示すラベルを貼らなければならない。現地の廃棄物管理当局の規定に従い認可された廃棄物廃棄物投棄地点に廃棄物を廃棄すること。

廃棄方法

爆発のリスクがあるので空容器は決して穴開けしたり焼却したりしてはならない。包装は必ず空 (逆さにしても何も落ちない状態) にしなければならない。国の規則に従って内容物 / 容器を廃棄すること。

14 : 輸送上の注意

一般事項

製品は危険物の輸送に関する国際規則 (IMDG、IATA、道路輸送/鉄道輸送) の適用範囲に含まれない。

国連番号

該当しない。

品名 (国連輸送名)

該当しない。

国連分類 (輸送における危険有害性クラス)

輸送警告標識は要求されない。

容器等級

該当しない。

海洋汚染物質

Action Powder

環境有害物質 / 海洋汚染物質
該当せず。

使用者のための特別予防措置

該当しない。

MARPOL73/78 附属書II及び IBCコードによるばら積み輸送 該当しない。

15 : 適用法令

該当製品に特有な安全、健康及び環境に関する規制

国内規制	GHSに基づく化学品の分類方法JIS Z 7252:2014 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS) JIS Z 7253:2012 GHSに基づく化学物質等の分類方法JIS Z 7252:2009
毒物及び劇物取締法	劇 物 パラホルムアルデヒド
消防法	第四類 引火性液体.
労働安全衛生法	全ての成分はリストに記載されている。

インベントリー

日本 (化審法)

全ての成分は記載されているかまたは免除されている。

16 : その他の情報

安全性データシートに使用されている略語及び頭文字

IATA: 国際航空運送協会
ICAO: 危険物の航空安全輸送に係る技術指針。
IMDG: 国際海上危険物。
CAS: ケミカルアブストラクトサービス。
ATE: 急性毒性推定値。
LC₅₀: 半数致死濃度。
LD₅₀: 半数致死量。
EC₅₀: 半数影響濃度。
PBT: 難分解、生体蓄積性、毒性物質。
vPvB: 高残留性・高生体蓄積性。

訓練に関する助言	訓練を受けた人員のみがこの物質を使用すること。
改訂に関する注釈	改訂規則
改訂日	2020/12/22
改訂版	12
更新日	2018/11/27
SDS番号	579

Action Powder

危険有害性情報の全文

H225 引火性の高い液体及び蒸気。
H228 可燃性固体。
H301 飲み込むと有毒。
H302 飲み込むと有害。
H311 皮膚に接触すると有毒。
H312 皮膚に接触すると有害。
H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。
H315 皮膚刺激。
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H318 重篤な眼の損傷。
H331 吸入すると有毒。
H332 吸入すると有害。
H335 呼吸器への刺激のおそれ。
H341 遺伝性疾患のおそれの疑い。
H350 発がんのおそれ。
H351 発がんのおそれの疑い。
H360FD 生殖能への悪影響のおそれ。 胎児への悪影響のおそれ。
H370 臓器への障害。
H400 水生生物に非常に強い毒性。
H402 水生生物に有害。
H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

この情報は明示されている特定の物質のみに関連するものでありこの物質を他の何らかの物質と併用したり何らかのプロセスに使用した場合には有効でない場合があります。上記の情報は、弊社の知識および確信のおよぶ限り、標示されている日付の時点において正確かつ信頼性の高い情報です。しかしながら、その精度、信頼性または完全性に関して一切の保証、補償あるいは表明をするものではありません。各自の特定用途に対する上記情報の適合性に関して確認を行うことは使用者の責務です。